Smart at reception
（受付システム）

検温連携 参考資料

2021 年 07 月 08 日　　初版作成
2021 年 08 月 19 日　第 2 版作成
2023 年 07 月 26 日　第 3 版作成

改訂履歴

版数	改訂内容	改訂日
1.0	新規作成	2021/07/08
2.0	画像差し替え、LDID の設定手順追加、参照マニュアル追加	2021/08/19
3.0	SenseThunder-Air 向けの説明追加に伴い、SenseThunder 側の設定方法を整理	2023/07/26

目次

改訂履歴 2

目次 3

１．概要 4

２．Sense Thunder のアカウント登録 5

３．SenseThunder の登録方法 6

４．SenseThunder 側の設定 7

4-1.レコード送信設定 7

【SenseThunder-Mini】の場合 7

【SenseThunder-Air】の場合 7

4-2.温度検知モード 8

【SenseThunder-Air】の場合 8

５．SenseLink App キー、SenseLink App シークレットの取得 9

６．デバイス LDID の取得 10

７．設定の注意 12

1．概要

Smart at reception インストール済の iPad と AI 温度検知システムの連携に必要な、以下の情報の取得方法について説明します。

① SenseLink Cloud アカウント登録から AI 温度検知システムに連携させるまでの手順
② SenseLink App キー、SenseLink App シークレットの取得
③ デバイス LDID の取得

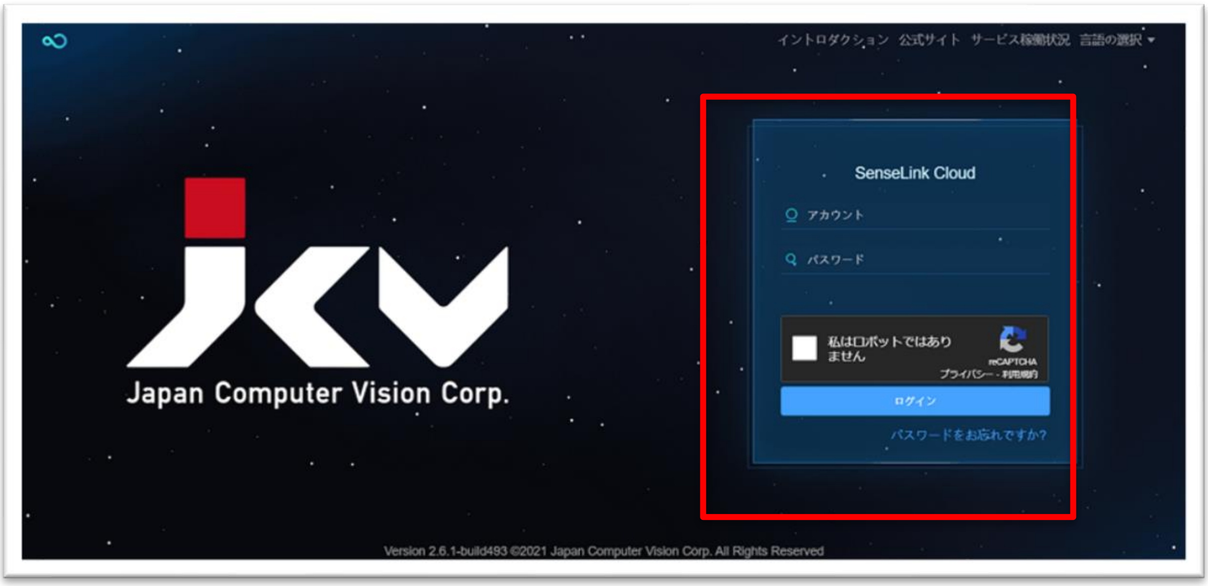
SenseThunder-Mini の使用方法については、こちらを参照ください。
https://docs.japancv.co.jp/sensethunder/user-manual/sensethunder-mini

SenseThunder-Air の使用方法については、こちらを参照ください。
https://docs.japancv.co.jp/sensethunder/user-manual/sensethunder-air

２．Sense Thunder のアカウント登録

JVC 製品提供窓口からのメール案内に従って SenseLink Cloud をダウンロードして
登録します。

①URL（https://link.japancv.co.jp/login）よりアクセスするとログイン画面が表示されます。
発行されたアカウント・パスワードを入力して、ログインボタンをクリックして下さい。
※登録した携帯番号から SMS 認証コードを取得して適用ボタンを押すとログインが完了します。



②ログインした画面から、左メニューのデバイスを選択し、登録された SenseThunder がオンラインになっているかを確認します。

※SenseThunder のデバイスが登録されていることを確認できました。
※登録は、デバイス側から行います。SenseLink からデバイスを登録することはできません。

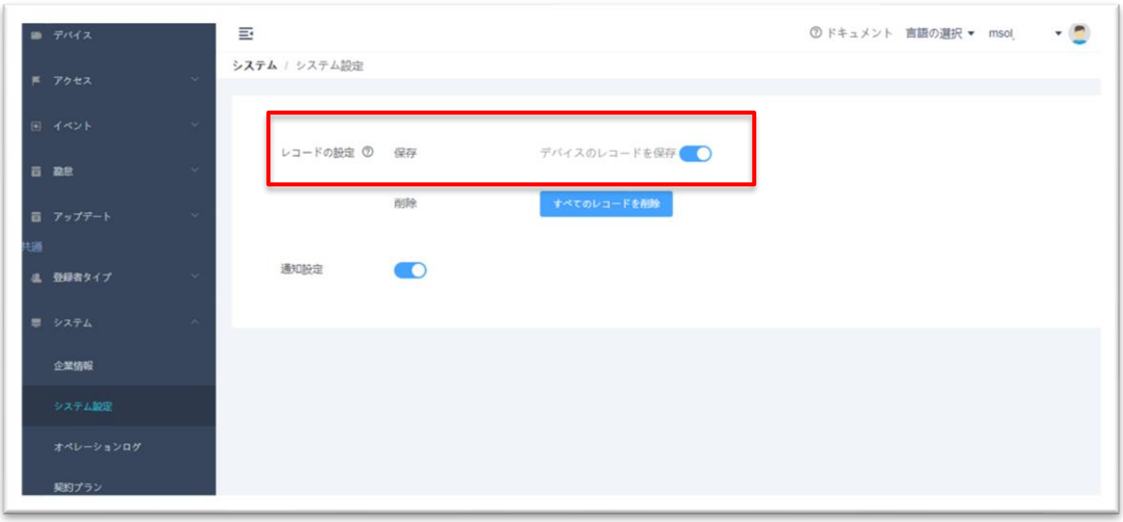
３．SenseThunder の登録方法

SenseLink Cloud の初期設定を行います。

SenseLink Cloud にログインした後、画面左上にある歯車ボタンから、ダッシュボードタイプを「温度」に変更します。

システム設定を行います。

左メニューからシステム設定を選択し、レコードの保存を「有効」にします。



※レコード保存の際、SenseLink Cloud ログイン時のパスワードを入力する画面が出てきます。パスワードを入力してください。

4． SenseThunder 側の設定

デバイスから SenseLinkCloud にログインすると、デバイスの全ての設定項目が初期値に切り替わり、「レコード保存」、「未登録者レコードの保存」は OFF に設定されます。切り替え後にはあらためて設定内容をご確認ください。

SenseThunder 側から管理画面にログインします。

4-1. レコード送信設定

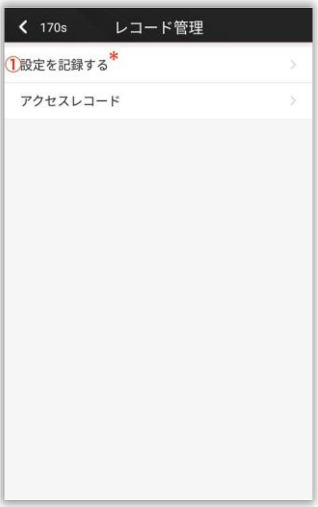
顔未登録者の情報も SenseLink Cloud へ送信するようにします。

【SenseThunder-Mini】の場合

設定画面で「システム設定」を選択します。
「レコードの保存」及び「未登録者レコードの保存」を「有効」に設定します。

【SenseThunder-Air】の場合

設定画面で「レコード管理」をタップします。



「①設定を記録する」の「②レコードスイッチ」を「有効」に設定します。
初期設定値は OFF です。

「⑥未登録者レコード」が「有効」になっていない場合は「有効」に設定します。
初期設定値は ON です。

4-2.温度検知モード

「温度検知モード」を「シングルモード」に設定します。
※SenseThunder-Mini にこの設定はありません

【SenseThunder-Air】の場合

設定画面で「温度検知設定」をタップします。

初期設定は複数人モードです。

温度検知モードをタップして、シングルモードを選択後、確認をタップすると選択したモードの設定が完了します。

５．SenseLink App キー、SenseLink App シークレットの取得

URL（https://link.japancv.co.jp/login）よりログインして、認証キーを取得する方法です。

① 右上部のユーザー名をクリックし、表示されたメニューの「オープンプラットフォーム」をクリックします。

② ユーザー名をクリックし、「オープンプラットフォーム」のメニューから「App Key を作る」で App key を作成して下さい。

※一度作成すると、次回から作成済みの API キー、API シークレットの情報が表示されます。

③取得した API キー、API シークレットは、reception 受付システム契約管理から設定します。

※設定方法については、「受付アプリ-オプションマニュアル-システム管理者編」および「受付アプリ-マニュアル-契約者編」を参考にしてください。

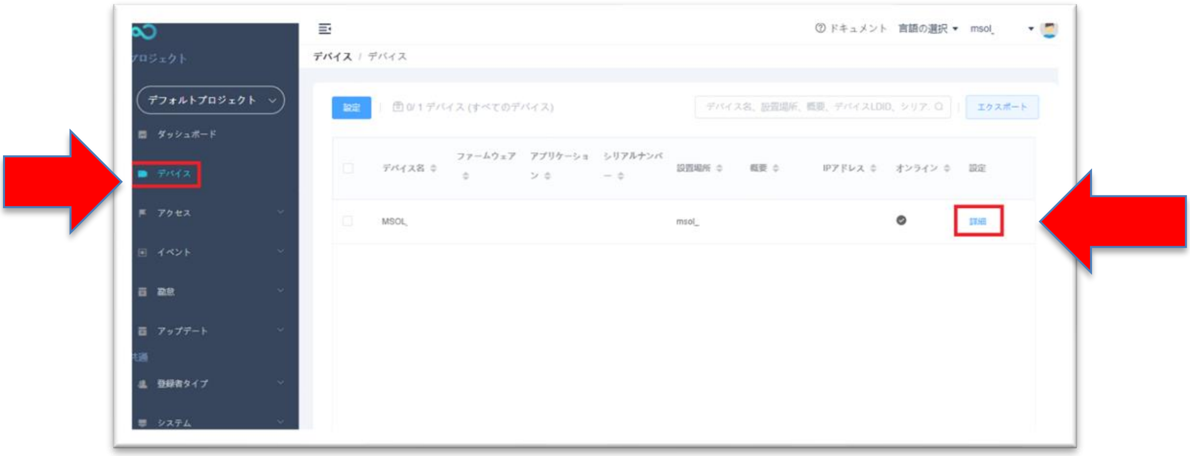
６．デバイス LDID の取得

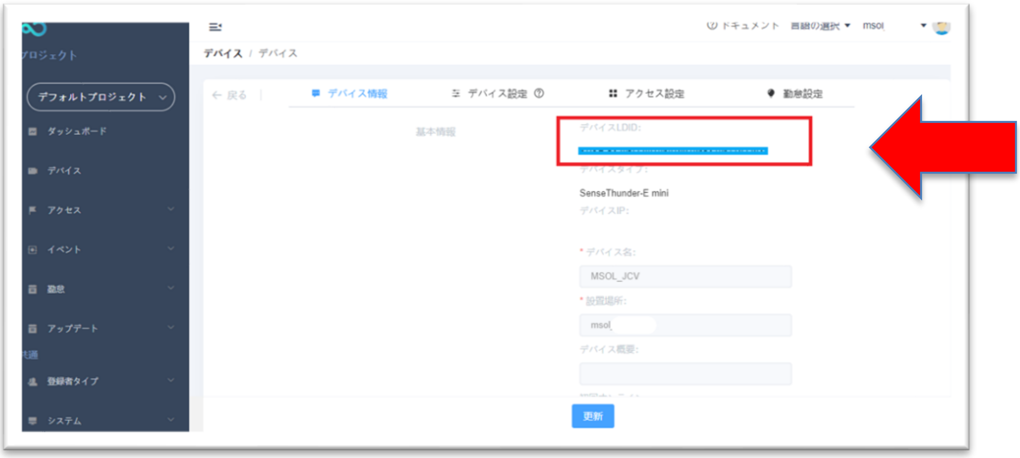
SenseLink から確認する方法と、デバイス上で確認する方法があります。

①SenseLink Cloud から確認する方法

※ログイン方法は「2.　SenseLink App キー、SenseLink App シークレットの取得」を参照

1.サイドメニューの「デバイス」をクリック
2.確認したい個体の「詳細」をクリック
3.最上部に LDID が表示される。





②デバイス上から確認する方法

1. 温度測定画面にて画面を数秒間タップする
2. パスワードを入力し OK ボタンをタップする
3. デバイス情報をタップする
4. LDID をタップする

③取得した LDID は、reception 受付システム契約管理から受付場所ごとに設定します。
※設定方法については、「受付アプリ-オプションマニュアル-システム管理者編」および「受付アプリ-マニュアル-契約者編」を参考にしてください。

7．設定の注意

Reception 受付システム契約管理の検温の設定と SenseLink Cloud の検温の設定は
手動で両方の管理画面で体温統一します。

※Reception 受付システム契約管理

※「検温」の表記について
SenseThunder は医療機器ではございせんが、ご来訪者様向けのわかりやすさを考慮した結果、
「検温」という言葉を用いております。